

福祉出前講座

～たくさんの学びがありました～



※写真は松原小学校で実施した福祉出前講座の様子。詳細については6ページに掲載

ボランティア研修会…2～3頁

赤い羽根共同募金・歳末たすけあい募金…4～5頁

地域福祉活動報告…6～7頁

私の町のふくし人 Vol.16…8頁

お知らせ…9～10頁

寄附者一覧…11～12頁



ボランティア研修会

2/21

テーマ『災害に負けない地域を目指して』



ボランティアに関する知識・関心を高め、ボランティア活動の活性化を図ることを目的に研修会を開催しました。今年度は、平成30年7月豪雨災害を振り返るとともに、今後の地域づくりにも視点を向けた研修会でした。

当日は、ボランティア団体や関係者を含め総勢240名の方々が参加され、実践発表として、1団体、1個人から発表いただきました。また、記念講演では、災害後の地域での支え合い・助け合いの重要性について講演がありました。

実践発表



高梁市消防団落合分団
分団長 **中島 好正**さん

★災害時の消防団の取り組み

団員は本業を持ちながら、災害発生時に消防活動を行います。昨年の7月豪雨災害時には、危機迫る非常に緊迫した中で、避難誘導や逃げ遅れ者の確認、広報活動など、市民のために活動を続けられました。

活動を通して、「災害発生時、尊い人命を守り、いかに最小限の被害に抑えられるかが重要となってくる。消防団は地域防災の要として、町内会や自主防災組織などとの連携を強化し、消防団の使命を遵守していきたい」と話されました。



災害ボランティア活動者
竹田 悦子さん

★見えてきたもの

～災害ボランティア活動～

昨年の7月豪雨災害時には、食器などの洗い物や拭き掃除、支援物資の片づけなどの活動をされました。

中でも「おしゃべり」をすることも支援につながることを感じられたそうです。

また、活動を通して便利な世の中になり、人と人の結びつきが希薄になっていると感じ、「できることを、できるときに、できるぶんだけ”活動することで、地域力の向上になる。自分の持てる力をおすそ分けできる1人でありたい」と話されました。

記念講演



災害ボランティア活動支援プロジェクト会議(派遣)
日野ボランティア・ネットワーク やました ひろ ひこ 山下 弘彦さん

★災害からの復興と被災後の地域づくり

～支え合う力を取り戻す～

2000年に発生した鳥取県西部地震に遭遇し、日野町での災害ボランティア活動をきっかけに、日野ボランティア・ネットワークに結成から参画されています。

昨年の7月豪雨災害では、高梁市災害ボランティアセンターの運営・活動に参画していただきました。「実際にはその方の、その地域の困難さがある。7月豪雨の経験を共有しつつ、支えあいの力を発揮して暮らしを守っていくために、人が集うこと、話をすることが重要」と話されました。



パネル展示



市内の被災状況や災害ボランティア活動などを写真で展示しました。見られた皆さんからは、「あの時は怖かったなあ」「高梁市が被害に遭うとは…」などの声が聞かれ、昨年の災害を振り返るとともに、今後の防災についても考えられていました。

消防署 展示・体験



救助工作車

起震車

起震車を体験した方からは、「こんなに揺れるとは思わなかった」「思うように動けなかった」などの感想がありました。また救助工作車の紹介では、設備や機能の多さに感心し、実際に触れながら聞いておられました。

参加者の声

- ・高齢になった私にもできることを考えなければと思いました。
- ・日頃から、地域のつながりを作り、支え合うことが大切だと実感しました。
- ・自分たちの地域でも何か取り組みをしたいと思いました。

などの感想がありました。

赤い羽根共同募金・歳末たすけあい募金にご協力いただきありがとうございました



歳末たすけあい募金 実績報告

募金区分	募金額(円)
戸別募金	2,193,760
個人募金	12,424
その他の募金	42,832
合計	2,249,016



今年度も皆さまからお寄せいただきました募金は、在宅で暮らしが重なる要介護者や難病者など300名の方へ慰問金としてお届けしました。
また、年末年始に援助活動に携わるボランティア団体や福祉団体など11団体へ活動費を助成しました。

赤い羽根共同募金 実績報告

募金区分	募金額(円)
戸別募金	3,944,629
街頭募金	0
法人募金	637,400
学校募金	8,584
職域募金	658,430
イベント募金	124,870
個人募金	5,000
その他の募金	29,192
合計	5,408,105

皆さまのあたたかいご協力ありがとうございました。
寄せられました募金は、平成31年度に社会福祉協議会や民間福祉施設等に配分されます。
皆さまのお住まいの地域で幅広く地域福祉の推進に役立てさせていただきます。

※台風の為、街頭募金は中止

～赤い羽根共同募金は、地域の安全・安心な暮らしを住民と共につくる活動を応援します～
平成31年度「赤い羽根 まちづくり福祉活動助成事業」の助成団体を募集します!



地域の安全・安心な暮らしを住民とともにつくる活動

☆助成対象活動

自主防犯・自主防災活動のために年間を通じて必要なパトロール用資材およびユニフォームなどの整備

☆助成対象団体

高梁市内において、原則1年以上の継続した活動が見込めること。また、団体等の運営が住民を主体とした組織で、自主性、自立性を有し、事業計画および会計状況が明らかであること。

☆助成金額 1団体あたり10万円以内

☆実施期間 平成31年4月1日から平成32年3月31日まで



住民相互のふれあいの拠点づくりに積極的に取り組む活動

☆助成対象活動

年間を通じて12回以上、地区社会福祉協議会の範囲内において定期的に地域の方々の居場所づくり、交流、情報交換などを目的として開催する活動拠点において、声かけ見守り活動などの社会的な孤立の防止を図るためのふれあい活動

☆助成対象団体 地区社会福祉協議会

☆助成金額 1地区社会福祉協議会あたり6万円を上限とし、1ふれあい拠点あたり2万円以内とする。

☆実施期間 平成31年4月1日から平成32年3月31日まで

○申請期間 平成31年4月1日～5月31日まで

※この助成は予算の範囲内で実施します。

申請書は社協事務所へ備え付けていますが、市社協ホームページからもダウンロードできます。

詳細については、気軽にお問い合わせください。

問い合わせ先

地域福祉課 ☎22-7243
川上支所 ☎48-9770

有漢支所 ☎57-3218
備中支所 ☎45-3131

成羽支所 ☎42-2005

歳末たすけあい募金で広がる地域の絆

新たな年を迎える時期に、地域で安心して暮らすことができるよう、次のボランティア団体・福祉団体などが歳末たすけあい募金の助成を受け、友愛訪問活動・慰問・交流事業を行いました。



★宇治婦人会

高齢者を対象とした 歳末友愛訪問

(4団体)



★川上地区歳末友愛訪問ボランティア



★有漢ボランティアあじさいの会



★備中町ヘルスボランティア連絡会



歳末たすけあい運動として、さまざまな活動に取り組みました。

障害者との交流・ 歳末激励慰問

(2団体)



★かぐら街道布寄直売所(成羽)

施設慰問および 交流事業

(5団体)

★ラベンダーボランティア(川上)

★ひまわりボランティア(川上)



★高梁市手話ボランティアの会

★高梁市身体障害者福祉協会



★備北商工会女性部(成羽)



★四ツ葉の会(川上)

川上地区福祉委員連絡会研修会

1/31

この研修会は、福祉委員の知識の向上と委員同士の交流を図ることを目的として開催しました。

高梁市消防本部の方から、昨年7月豪雨災害の状況や災害時の豆知識などを教わり、その後、緊急時の対応についてAEDの使用方法を学びました。

高梁市内の災害状況が放映されると、参加者は驚きと恐怖を感じておられ、「すごいなあ」「怖かったなあ」と、当時を思い出され、非常時の持ち出し品を準備しておこうなどと委員同士で会話をされていました。

また、AEDは見たことがあるが、その場に遭遇したときにどのように使えばよいかかわかったなどの感想がありました。そして、常に情報に耳や目を傾ける心を持ち続け、情報を共有することの大切さを学びました。



災害状況を映像で振り返る皆さん



AEDの使用方法の講習の様子



福祉出前講座 in 松原小学校

2/8

松原小学校の3・4年生の児童7名は、高齢者の気持ちや介護方法、接し方などを体験的に学ぶことを目的とする高齢者疑似体験の学習を行いました。

この学習は、視覚障害ゴーグルや耳せん、手足の重りなどを装着して、日常生活動作を擬似的に体験するものです。加齢によって身体的に変化することを体験し、知ることによって、身近な福祉問題について関心を深めていました。

体験後児童たちからは、「高齢者の大変さが分かった」「優しい気持ちで接しようと思った」などの感想がありました。



体験セットを身に装着して身体的な変化を学ぶ児童たちの様子



市社協では市内の地域や学校に出向いて福祉出前講座を行っています。お気軽にご相談ください。





カフェ「かたくりの華」



有漢町川関地区の川関集落センターで、毎月1回、カフェ「かたくりの華」が開催されています。昨年3月に地域の女性ボランティア数名で立ち上げたもので、高齢者を中心に訪れた方々から好評を得ています。

のんびりとした自由な雰囲気、近くの諏訪神社への例祭帰りや農作業の合間に立ち寄ったり、町内の友人や知人を誘って訪れたりして、笑顔とおしゃべりでにぎわいます。

バザーコーナーも人気で、地元の人が持ち寄った手芸品や日用雑貨などの品々が並べられ、季節によっては朝採れの新鮮野菜が早い時間に売り切れになるそうです。また、最初は運営スタッフの賄いのために作っていたうどんやおこわなどが、来客者の要望により、メニューに加わることもあります。

最近では、会場の準備や運営に男性スタッフが加わるなど、地域の交流の場として、知らないうちに人の輪が広がってきています。

ボランティアの方は、「最初は上手くいかどうか心配したけど、1年経って自信がついてきました。今後も工夫しながら、かたくりの花のように、素朴でもしっかりと地道に仲良く続けていきたいです」と語っています。

興味がある方は、ぜひ訪ねてみてください。



カフェでおしゃべりを楽しむ皆さん

開催日時 毎月1日（1月を除く）
午前10時～午後3時

メニュー コーヒー（お菓子付き）
100円 ほか

問い合わせ 有漢地区社会福祉協議会
☎ 57-3218



福祉座談会を開催



市社協では、地域福祉活動計画の推進を図るとともに、地域の皆さんが地域の福祉課題を把握・共有し、問題解決に向けた小地域福祉活動を推進するため、各地区社会福祉協議会と福祉座談会を開催し、577名が参加されました。

今年度の福祉座談会では、現在策定中の第2次地域福祉活動計画について意見を募るとともに、ワークショップを行い、「見守り・声かけ」「移動支援」「食の支援」「生活支援」「拠点づくり」といった住民主体の活動について、それぞれの町内会で「できること」「できないこと」について話し合いました。



津川地区座談会の様子

地域の声

★できること

- 日常的な見守り・声かけ
- 食事のおすそ分け
- ゴミだし など

★できないこと

- 金銭管理
- 1人で対象者の家に入ること
- 車に乗せること など

私の町の
ふくしVOL.
16

Nobuyuki Henmi

逸見信之さん



ふくしとは、

- ふ ぶつう (普段) の
- く 暮らしが
- し 幸せであること。

とされています。

このコーナーでは、そんな福祉のまちづくりのために地域で頑張っておられる方を紹介していきます。

私は40年間県の建設行政に携わっていたため、福祉に関して全くの素人でした。そのため、福祉に關して全くの素人でした。そのため、突然民生委員の誘いがあっても断り続けていましたが、今まで地元にも貢献をしていなかったもので引き受けることにしたのが平成9年の12月でした。

以来、地元のボランティア団体である「ほほえみ会」にも所属し、いろいろなボランティアに参加することになりました。中でも、毎月第4火曜日に開催されていた中井町自主リハビリ教室では、65歳以上のお年寄りを対象に、医療・交通安全・詐欺に関する講座や手工芸、レクリエーションなどを行いました。また、参加を促すための送迎もしており、福祉関係に興味を持つきっかけになりました。

そして、平成12年になって市の事業としてミニデイサービスが始まりました。第4火曜日に実施することになり、自主リハビリは第2火曜日に変更になりました。当初は送迎もしていましたが最近では、会計や事務関係に専念し、時にはみんなと一緒に遊んだり勉強したりしています。また、教室生たちは家に閉じこもっているより参加することで、多くの人とコミュニケーションが図れ、勉強にもなると喜ばれており、次回が待ち遠し

いとも言われています。

また、毎年2月第1土曜日にはふれあい給食があり、75歳以上の1人暮らしの方と、80歳以上の高齢者世帯を対象に、ほほえみ会はもちろん、栄養・愛育委員、民生・福祉委員や小学生も参加して一緒に弁当を配っています。

この他、食事作りのできない方への配食や、介護予防体操（ロコモ体操）、町民が寄ってゆつたりとくつろげる場所として開設したカフェ「ほうこく茶屋」などに携わっています。

いずれにせよ町民の皆さんが健康で長生きができるようお願いながら、まだ85歳の若者の自分ができる間、頑張っていると思っています。



クリスマス会に参加された皆さん



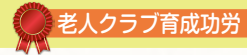
ほうこく茶屋での様子



受賞おめでとうございます



全国老人クラブ連合会会長表彰



今回は受賞の栄に浴しありがとうございます。これひとえに会員皆さま、また地域の方々のご支援によるものと厚くお礼申し上げます。高齢社会において私たちはさらなる健康寿命の延伸を目指し、共に支え合いながら地域に貢献してまいらなければならないと存じます。私も微力ながら努力してまいりますのでどうぞよろしく願いいたします。



全国老人福祉施設協議会会長感謝

この度は、受賞ありがとうございます。沢山の人たちから、多くのことを教わり、経験をさせていただきました。皆さまの支えのおかげで、仕事を続けてこられたことに感謝しています。これからも人との絆を大切に、多くの笑顔に出会えることを励みに頑張ります。

また、市社協役員としての永年の功績が認められ、赤木五郎賞を平木生山さんが受賞されました。

平成30年度 賛助会員会費にご協力いただいた法人会員

12月16日から2月15日までの受付分を掲載しております。ご協力ありがとうございました。(順不同、敬称略)



(高梁地区) ……石井乳業有限会社

(成羽地区) ……白菊商事株式会社

株式会社 小見山モータース

ボランティアセンターからのお知らせ

平成31年度ボランティア登録およびボランティア活動保険について

ボランティアセンター登録団体の活動内容等については、市社協ホームページで紹介しています。最新の情報を提供するため、年度ごとに登録申請が必要になりますので、ボランティア団体の皆さんは平成31年度用の申請手続きをお願いいたします。

また、平成30年度のボランティア活動保険の補償期間が平成31年3月31日で終了となります。4月1日から活動される団体・個人の方は、3月末までに市社協(地域福祉課・各支所)で保険加入の手続きをお願いします。

保険金額

保険金の種類		プラン	Aプラン	Bプラン	
ケガの補償	死亡保険金		1,040万円	1,400万円	
	後遺障害保険金		1,040万円 (限度額)	1,400万円 (限度額)	
	入院保険金日額		6,500円	10,000円	
	手術保険金	入院中の手術		65,000円	100,000円
		外来の手術		32,500円	50,000円
	通院保険金日額		4,000円	6,000円	
	特定感染症の補償	上記後遺障害、入院、通院の各補償金額(保険金額)に同じ			
葬祭費用保険金 (特定感染症)				300万円 (限度額)	
賠償責任の補償	賠償責任保険金 (対人・対物共通)			5億円 (限度額)	

年間保険料 (1名あたり)

タイプ	プラン	Aプラン	Bプラン
基本タイプ		350円	510円
天災タイプ(※)		500円	710円

(※) 天災タイプでは、天災(地震、噴火または津波)に起因する被保険者自身のケガを補償しますが(天災危険担保特約条項)、賠償責任の補償については、天災に起因する場合は対象になりません。

団体割引 20%適用済 / 過去の損害率による割増引適用

問い合わせ先

地域福祉課 ☎22-7243
川上支所 ☎48-9770

有漢支所 ☎57-3218
備中支所 ☎45-3131

成羽支所 ☎42-2005

福祉委員の選出について

市社協では、住民の皆さんが安心して暮らせるよう、各町内会で見守りや声かけ活動を行う福祉委員の選出をお願いしています。

平成31年度についても、各町内会より福祉委員を選出いただき、福祉委員選出届を提出していただきますようお願いいたします。

なお、福祉委員を交代される場合は、お渡ししている福祉委員証をご返却いただきますようお願いいたします。



高梁市社会福祉協議会
福祉委員連絡協議会
会長 丹治 勇さん

☆福祉委員選出届の提出および福祉委員証の返却先

◆市社協地域福祉課 ◆各支所、各地域市民センター

日常生活自立支援事業

日常生活自立支援事業とは？

自分の判断能力に不安な人、毎日の生活費の出し入れに困っている人に福祉サービスの手続きや金銭管理のお手伝いを行います。

こんなときご相談ください！

- ◆福祉サービスを利用したいけれど、手続きの仕方がわからない…
- ◆銀行でお金をおろしたいけれど、自信がなくて誰かに相談したい…
- ◆訪問販売がきたとき、どう対応していいかわからない…



利用できる方

次の①～③のすべてに当てはまる方です。

- ①契約などの判断に不安がある方
- ②このサービスを利用する意思がある方
- ③この契約内容が理解できる方



利用料 ※このサービスは有料です

- ◆生活支援員が訪問してお手伝いするサービスを利用する場合

1,100円（最初の1時間）＋交通費

※1時間を超える場合は、30分ごとに550円加算

※生活保護を受けている方は国・県により負担されますので、ご本人からは頂きません。

- ◆書類を預かるサービスを利用する場合

1年間5,000円（実費400円×12ヶ月と事務手数料200円）

具体的なお手伝いの内容

- ◆福祉サービスの手続きについて ◆お金の出し入れについて ◆大切な書類等の預かりについて
- ※ただし宝石、書画、骨董品、貴金属類など、または現金、証券、さらに運用を必要とする株券等はお預かりできません。

問い合わせ先 地域福祉課 ☎ 22-7243

社会福祉協議会へのご寄附

ありがとうございました。

平成 31 年
1月～2月

社会福祉法人高梁市社会福祉協議会へ平成 31 年 1 月と 2 月にいただいたご寄附についてお知らせします。
心から感謝申し上げ社会福祉事業に活用させていただきます。
なお、金額等については寄附者の意向によって掲載しています。
(敬称は略させていただきます。)



【香典・玉串料・御花料返し】

《高梁支会》

《高梁地区》

- 金一封 原田北町 仲村美代子 (故・正博様)
- 金一封 浜町 西井 圭介 (故・清介様)
- 金一封 津川町 渡辺 満 (故・君代様)
- 金一封 加賀郡 難波 雅弘 (故・榮様)
- 金一封 落合町 三村 敏通 (故・チヅエ様)
- 金一封 弓之町 神原 英子 (故・旦那様)
- 金一封 宇治町 平岡 正人 (故・叶様)
- 金一封 落合町 植野 和司 (故・友一様)
- 金一封 中井町 新山 敏春 (故・博司様)
- 金一封 落合町 畑 圭子 (故・艶子様)
- 金一封 下町 柏原 伸也 (故・孝司様)
- 金一封 奥万田町 樋口 義博 (故・千年様)
- 金一封 中井町 新山 肇 (故・政江様)
- 金一封 津川町 山崎 幹雄 (故・兼親様)

《高倉地区》

《津川地区》

- 金一封 落合町 野口 和則 (故・幹雄様)
- 金一封 落合町 三村 友明 (故・美子様)
- 金一封 津川町 小野 一成 (故・憲治様)
- 金一封 高倉町 大平 隆祥 (故・學様)
- 金一封 中井町 石川 正明 (故・定子様)
- 金一封 津川町 渡辺 満 (故・君代様)
- 金一封 津川町 山崎 幹雄 (故・兼親様)
- 金一封 津川町 小野 一成 (故・憲治様)
- 《川面地区》
- 金一封 川面町 松平 吉正 (故・宗一様)
- 金一封 川面町 坂本 隆志 (故・平 宗男様)
- 《巨瀬地区》
- 金一封 巨瀬町 島田 進 (故・房子様)

《中井地区》

《宇治地区》

- 金一封 巨瀬町 中山 仁 (故・隆男様)
- 金一封 巨瀬町 家親 稔 (故・今子様)
- 金一封 巨瀬町 島田 照男 (故・か免子様)
- 《中井地区》
- 金一封 中井町 倉地茂登子 (故・齊藤君枝様)
- 金一封 中井町 新山 敏春 (故・博司様)
- 金一封 中井町 新山 肇 (故・政江様)
- 金一封 中井町 野口 糸夫 (故・春子様)
- 金一封 中井町 石川 正明 (故・定子様)
- 《宇治地区》
- 金一封 宇治町 平岡 正人 (故・叶様)
- 《松原地区》
- 金一封 松原町 東 静子 (故・隆夫様)

《有漢支会》

《落合地区》

- 金一封 高倉町 三村 一郎 (故・小里様)
- 金一封 高倉町 大平 隆祥 (故・學様)
- 《落合地区》
- 金一封 落合町 三村 敏通 (故・チヅエ様)
- 金一封 落合町 植野 和司 (故・友一様)
- 金一封 落合町 野口 和則 (故・幹雄様)
- 金一封 落合町 野口浩一郎 (故・文子様)
- 金一封 落合町 三村 友明 (故・美子様)
- 《有漢支会》
- 金一封 有漢 田邊 光明 (故・好子様)
- 金一封 有漢 立藤 五 (故・美さ子様)
- 金一封 上有漢 石森 武徳 (故・寛一様)
- 金一封 有漢 川上 綾子 (故・鉄男様)

《成羽支会》

金一封 成羽 日名 将博

(故・映廣様)

金一封 布寄 松田 和則

(故・弘子様)

金一封 下原 平松 幹男

(故・芳男様)

金一封 羽根 沖嶋 昇

(故・近男様)

金一封 長地 渡邊 正人

(故・成宣様)

金一封 下原 佐藤 典明

(故・泰朗様)

《川上支会》

金一封 地頭 前原 康介

(故・満洲男様)

金一封 上大竹 森坂 誠

(故・二郎様)

金一封 地頭 富田 秀男

(故・経世様)

金一封 地頭 日谷 一夫

(故・スミコ様)

金一封 下大竹 三宅 清子

(故・稔様)

《備中支会》

金一封 布瀬 鈴村 知久

(故・小忠様)

金一封 平川 中西 隆範

(故・八重子様)

《一般寄附》

《高梁支会》

《高梁地区》

金一封 匿名 名

(社会奉仕として 第46回、第47回目)

金一封 向町 豪地益壽社協賛

福祉フォーラムチャリティー収益金による西日本豪雨災害復興支援金として

金一封 倉敷市 岡山県赤十字会

(西日本豪雨災害復興支援金として)

《巨瀬地区》

金一封 巨瀬町 上森 一正

(退院内祝いとして)

《有漢支会》

金一封 有漢 上森 武

(退院内祝いとして)

金一封 有漢 氏弘 厚治

(退院内祝いとして)

金一封 有漢 水川 利之

(退院内祝いとして)

金一封 上有漢 水川 利之

(退院内祝いとして)

《川上支会》

金一封 下大竹 三宅 憲政

(退院内祝いとして)

《備中支会》

金一封 布賀 前原 吉夫

(退院内祝いとして)

金一封 西油野 田村 光義

(退院内祝いとして)



編集後記

だんだんと暖かくなり、長く厳しい冬にじっと耐え忍んでいた草木も、芽吹きだしました。さて、今号ではボランティア研修会について掲載しております。

昨年の7月豪雨災害を経験し、いろいろな思いで聴講された方も多くいらっしゃると思います。記念講演の中で、「その方の、その地域の困難さがある。相互理解、共有しながら、これからの地域を考える」という山下弘彦さんの言葉がありました。今回は災害時におけることでしたが、相互理解の大切さは普段の生活でも言えることではないかと思いました。自分とは異なる思考などを排除しようとする気持ちが、自分の中にもあるのかもしれない。少し想像力を働かせて他者の気持ちを理解しなければと、この研修会を通して多くの気付きがありました。

季節の変わり目で体調を崩しやすい時期です。どうぞすこやかに過ごしてください。(K)



この広報紙は、寄附金の一部を活用して発行しています